

ともしび ブダより

第98号



社会福祉法人

依田窪福祉会

事業別連絡先一覧

●法人本部

☎85-2202

[E-mail] info@yodakubofukushikai.jp

[U R L] <http://www.yodakubofukushikai.jp/>

●依田窪特別養護老人ホーム

☎85-2218

●短期入所生活介護事業

●依田窪福祉会居宅介護支援事業

☎85-2047

●相談支援事業 花もも

●寄り合い処 なすな

☎75-0522

●デイサービスセンター 武石 ☎75-0522

●ヘルパーステーションこすもす ☎85-0098

●デイサービスセンター 長門 ☎68-0226

●小規模多機能型居宅介護 大門の家 ☎41-2123

●デイサービスセンター 和田 ☎88-0077

●高齢者生活福祉センター

●グループホーム和田

☎88-0088

特別養護老人ホームともしび

お正月



新しい一年の始まりです。



新年会

職員によるスコップ三味線。軽快な音色が響きました。

獅子舞に厄災を追い払ってもらいました。



鬼は外! 福は内!



豆に見立てたボールで鬼退治。お部屋まで鬼がやってきました!

毎年恒例のどんど焼き



煙たい!けれどこれで今年も一年健康に過ごせそうです。

地域のボランティアの方々にクラブ活動のお手伝いをいただいています。いつもありがとうございます。

素敵なお笑顔と共に、春の訪れを感じます。これが本当の♪お内裏様とお雛様(仲良しのご夫婦です)



地域とつながる

2月に武石総合センターで開催された、子育て文化教育事業の「和気・相愛・交流会」に参加しました。開所してから地域の行事に参加するのは初めての試みでしたが、ハーモニカ演奏や保育園児の歌や踊り、ゲームでの交流があり、「可愛いね。」「こんなに小さい子供見るのは久しぶりだね。」とデイサービスでのいつもの表情とはまた違う、素敵な笑顔が見られました。

近所の知り合いの方からは、「おばちゃん久しぶりだね。元気だった?」などと声を掛けていただくこともありました。



地域にあるカフェへも外食を計画し出掛けてきました。昔は地域での行事等の参加や、商店街での買い物を楽しまれていたご利用者も、今は出掛ける事すら億劫だと言われます。

今年度は地域の中で暮らしている実感や、喜びを感じて頂ける機会を広げていきたいと思っています。

ヘルプステーションひすもす

『こんにちは』玄関から大きな声で呼びかけ、今日も元気に私たちはご利用者のお宅へ伺います。

体調は良いですか。ご飯は食べましたかなど、こちらから日々の様子や体調をお聞きしながらお手伝いさせていただいています。ご利用者からも、昨日は美味しい物を食べた。いい天気だったから外に出て草取りしたなど、色々なお話を聞かせてください。「ヘルパーさんの元気な声を聞くとこちらでも元気になる。話しをするのもリハビリだから」との言葉をいただくと私たちも嬉しくなります。

訪問時の何げない会話から困り事があっさりと解決して、明るい顔になられたなんて事も時にはあります。「昨日は転んでしまって」とお聞きすれば、危ない場所を確認して片付けや掃除などほんの少しでもお手伝いが出来ればと思っています。

ご利用者がいつまでも住み慣れたご自宅で暮らしていけるように、今日も元気に私たちは『こんにちは』と挨拶して訪問しています。



依田窪福祉会居宅介護支援事業

美味しくご飯を食べていますか？

爽やかな新緑が芽吹き、暖かい日々が続いています。これから夏に向けて、心身ともに健康で過ごすために美味しく食事をしたいですね。食事は栄養を摂るだけでなく、家族や友人とのコミュニケーションが活性化されたり、食材から四季を感じることができ、生きる活力につながります。

食事をするために必要な歯は、20本あればほとんどの食べ物をかみ砕くことができ、美味しく食べることができると言われています。口腔ケアは、歯を失う原因である虫歯や歯周病を予防する

ことができます。他にも誤嚥性肺炎を防いだり、かむ力や飲み込む力を向上させることができます。そのためには歯のあるなしに関わらず口腔内を刺激することや清潔にすることは大切ですので、毎日口腔ケアをしていきましょう。

皆さんがいきいきと自分らしい生活を送るために、私たちケアマネジャーは一人一人に寄り添い安心できる相談相手になりたいと思っています。



長和 Nagawa Area

やっと春がきましたね

やっと春がきましたね。長い冬が終わり家に閉じこもってしまっている方、さあ、外へ出掛けようと思いが上がってくるといいですね。3月は雪も何度も降りました。早く桜咲く頃にならないかな？と皆さんで待ち遠しく思っていました。そのために、足腰悪くならないよう運動したり、レクリエーションしたり、家で出来なくてもデイサービスに来ると「こんなに運



動ができるね。」と頑張って取り組んで下さっています。足腰も強くなりました。花見に出かける準備は万端です！今年も色々な企画を沢山考えていますので沢山の利用者に来ていただきたいと思っています。

ご利用者の皆さんが笑顔で過ごし、また来たいと思ってもらえるデイサービスを目指しています



グループホーム和田

グループホーム和田は、長和町の地域密着サービス事業のため、ご利用者は全員長和町のご住所です。入所されたらお知り合いに会えた!などという場面もあります。



普段の会話の中にも、「家はどちら?」「古町だよ」「私は和田だよ」という会話がはずみ、「そこには、〇〇さんと言う知り合いがいてね・・・」など記憶がよみがえります。同じ町内と知り、安心感も生まれます。

住み慣れた地域で暮らし続ける喜びが持てるように、そしてご利用者が有する能力に応じ可能な限り自立した生活が送れるように、職員は支援をさせていただきます。

デイサービスセンター和田

機能訓練って何?

デイサービスセンター和田のご利用者は、ご希望に応じ、個別に機能訓練を行っています。

看護職員が機能訓練指導員として勤務し、ご利用者と一緒に、身体機能や日常生活動作の能力に合わせた訓練を実施しています。心身機能の回復、維持、向上を目指し、目標や目的を伺い、ご利用者一人ひとりに合った機能訓練計画を作成します。その計画に沿って更に充実した生活が送れるよう、職員とご利用者と一緒に運動に取り組んでいます。

自宅で、介護が必要となった高齢者が暮らし続けていくためには、身体機能の低下を予防し、日常生活動作の維持、向上を図ることは必要不可欠となります。

個別機能訓練はそのために大きな役割を果たしていると感じています。さあ皆さんもレッツ・トライ!!



小規模多機能型居宅介護

大門の家 

原点回帰

「ありがとう」と言うことは、感謝の気持ちを伝えることで、相手に喜びや満足感を与えることができると思います。また、自分自身も感謝の気持ちを持つことで、心が豊かになるのではと考えます。

先日、スタッフ達が集まって1年の振り返りをおこないました。その中で『人は「ありがとう」と言われることが好きだと思う』という話が出ました。その通りで「ありがとう」という言葉を受け取るとはとても嬉しい瞬間です。それは、自分の行動や努力が認められ、相手に喜びを与えたことを意味するからだと思います。

感謝の気持ちや言葉は、人々のつながりを深め、好意的な気持ちを共有できると思います。大門の家で食事作りやおやつ作り、洗濯物を干したり畳んだり、食事の準備や片付けなどといった活動

の中でご利用者と職員、又はご利用者同士が、互いに協力しあい「ありがとう」が飛び交う場面を見ているととても心が和みます。

ある職員は認知症のご利用者から自分を気遣う言葉や労いの言葉をかけていただいた時、「その方の本来持っている人間性に触れ、私が「介護」を仕事としている理由がわかったような気がした」と言いました。2024年度がスタートし、介護報酬も改定され報酬単価も変わりました。私達も「介護」という仕事人が人であればならない意味を追求し続け、原点を確認しながらより良いサービスを提供し続けたいと思います。



令和6年年度能登半島地震により被害を受けられた皆様にご心からお見舞い申し上げます。

法人では地震発生すぐに、被災された高齢者や子どもが必要なおむつを募集しましたところ、地域の皆さまのご協力をいただき多くの物資が集まり支援することができました。あたたかいご協力に深く感謝申し上げます。

また、法人職員互助会より被災地4県へ日本赤十字社を通して、義援金を寄付させていただきました。一日も早い復興をお祈り申し上げます。



ご寄附ありがとうございました。

令和6年3月 ●介護用品 上田市社会福祉協議会様

令和6年5月1日

発行者：社会福祉法人依田窪福祉会 理事長：渡邊 和美 編集：広報委員会 所在地：〒386-0503 長野県上田市下武石776-1
TEL.0268-85-2202 FAX.0268-41-4200 E-mail:info@yodakubofukushikai.jp